

折尾愛真

NEWS LETTER



2010年 10月

8号 Vol. 34

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号

TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690

E-mail: info@orioaishin.ac.jp

URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 Since 1935 (昭和10年)

地域の皆様に支えられ、創立75年を迎えました。

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科 特進コース 普通コース 健康福祉コース 保育コース インターコース 一貫コース	看護科 看護科 看護専攻科	商業科 商業コース 美容専科コース 製菓衛生師コース
--	----------------------------	--

看護科

看護教育講演会

10月2日(土)、第2回看護教育講演会があり、今回は医療法人回生会京都回生病院看護部長の高岡みな子先生をお迎えして「私の看護体験を通して」と題して講演をして頂きました。



宗教教育特別講演会

10月6日(水)、キリスト教教育学校同盟100周年記念の一環として西南地区に加盟する学校が相互に礼拝を担当する交換礼拝がありました。今回礼拝を担当された長崎の活水中学・高等学校宗教主任の高橋良隆先生は「待ち望む自由」と題して講演をして頂き、いつもの礼拝とは違った新鮮なものとなりました。



講演中の高橋先生

美容専科コース

合格率 87.5%

(全国平均 45.2%)

速報!

第22回美容師国家試験結果

第22回(平成22年度前期)美容師国家試験が7月26日(月)実技試験、9月5日(日)筆記試験が行われ、9月29日(水)の合格発表があり美容専科コース24名が受験し、21名が合格しました。合格率**87.5%**は全国平均(45.2%)を大きく上回り快挙を成し遂げ後輩への良い刺激となりました。尚、筆記又は実技のみの合格者は来年春に受験予定です。

健康福祉コース (平成23年度より)

特別講座

10月2日(土)、点訳・音訳ボランティア連絡協議会の鳥羽啓子先生と北九州市障害福祉ボランティア協会コーディネーターの遠山昌子先生をお迎えし、1年生対象に点字、2年生対象に手話の研修会がそれぞれ行われ、みんな真剣に取り組んでいました。



新生徒会スタート!

生徒会役員改選

9月28日(火)生徒会役員改選が行われ、新生徒会役員が決定しました。10月1日より新執行部で生徒会の運営に当たります。

生徒会長	石井 せれな	2年	香月中学校			
生徒会副会長	船津 朋美	2年	若松中学校	原 悠季乃	1年	高生中学校
書記	城尾 実希	2年	思永中学校	小松原 大輝	1年	二島中学校
会計	大和 裕梨	2年	宗像中央中学校	吉武 愛美	1年	遠賀中学校
企画	於保 典恵	2年	花尾中学校	川平 峻也	1年	穴生中学校

第2回 学校見学会

第2回学校見学会が、9月25日(土)に行われ前回同様多くの中学生・保護者の参加のもと盛会のうちに終わりました。今回は生徒による学校紹介のあと、それぞれの科コースでの体験学習があり将来の夢の実現に向け真剣に取り組んでいました。

戴帽式



全体会



保育体験



健康福祉 (点字体験)

看護科・看護専攻科

血圧測定体験



オープン授業

10月5日(火)~16日(金)の10日間中学生のためのオープン授業が行われています。近隣の中学生はもとより遠くは福岡市東区、京築地区からの中学生の参加もありました。

第3回

中学生のための 学校見学会

第1部

学校紹介

生徒による教育方針と各科コースの教育活動報告

入試説明

①募集要項 ②入試傾向と対策 ③過去問題を配布

第2部

①セミナー (各科コース)

各科コース選択の視点、入試制度(推薦・一般)や学費など受験生や保護者の疑問にお答えします。受験までの二ヶ月、必要なデータを収集し、受験に備えましょう。

②部活動紹介

有意義な高校生活を送るための部活動選びの参考にしましょう。

第3部 校内見学・部活動見学

- ①看護実習室
- ②福祉実習室
- ③コンピュータ室
- ④器楽実習室
- ⑤製菓実習室
- ⑥美容実習室

11/

6

土

「折尾歴史探訪」

第13回
疋田小三次の墓②

この事件後の真夏の夜毎に、深夜になると村内に馬のヒズメの音が響き渡ると云う奇怪な話が村民の間に広がります。さらに、一頭の馬に、若武者と幼児三人が乗り、村内を走り回る姿を見たと言う人が現れ、夜明けと共に姿を消すという不思議な噂が流れるようになります。村民はこれぞ小三次父子の霊に違いないと、小三次の忠節を讃え、四人の墓を建て、霊を弔ったと云います。

～黒田藩二代藩主忠之の人物～

幼児から我儘な上、暗愚だったといわれ、父長政は忠之に対して何度も家訓を言い聞かせたと云います。長政は一時、忠之を廃嫡して二男の長興に家畜を譲ることにしましたが、家老栗山大膳に反対され、二代藩主になります。一例として、藩主としての器が疑われるのは、島原の乱で、黒田藩も、藩主が総大将として出兵しますが、家臣は忠之の下知に従わず、黒田一成の言葉に従ったと云われています。栗山大膳との確執で黒田騒動を起こしたのも、まさに藩主忠之の愚鈍のせいにはなりません。一時、黒田藩主の地位を奪われかけた弟の長興を恨んで、生涯不仲だったと云います。

<小田弘之氏著『折尾周辺の史跡めぐり』より>